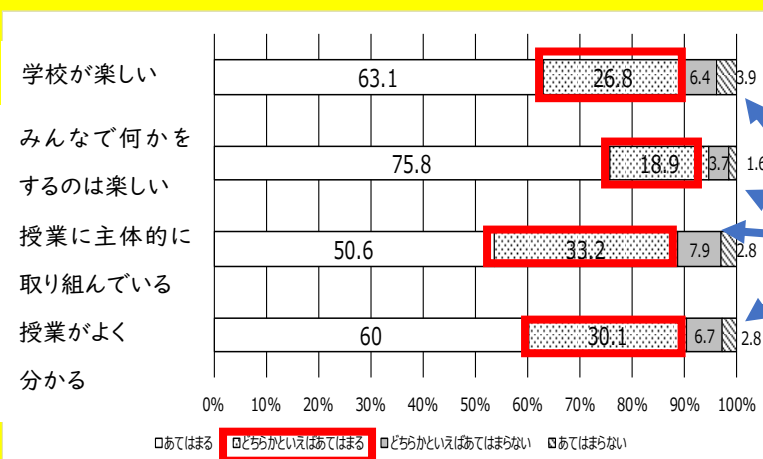


「こどもの声」を取組に活かす

児童生徒アンケート結果(例)



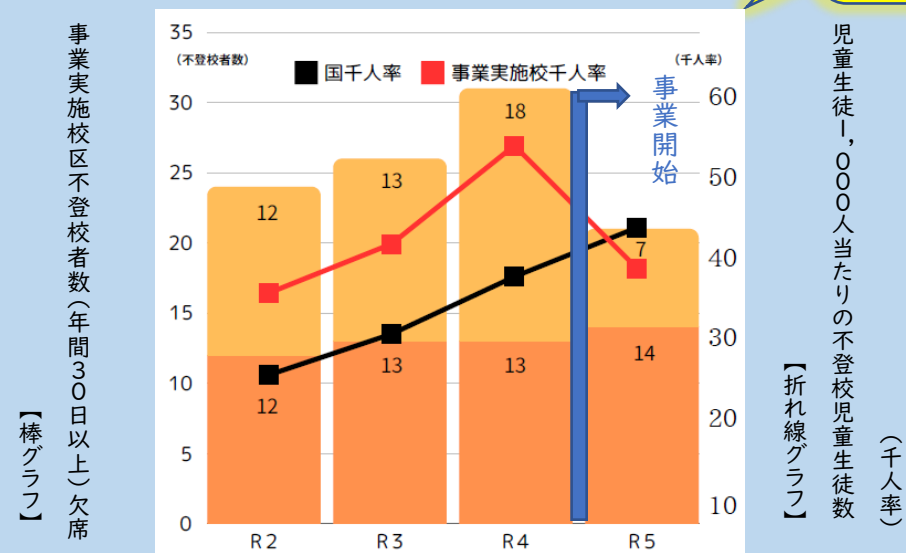
自校のこどもたちのことを把握するためにアンケートを実施し、「どちらからといえばあてはまる」と回答しているこどもたちに着目して、「あてはまる」の強い肯定にするには、どのような取組が必要かを話し合い、取組を計画しています。



不登校者数の減少

- 継続数（前年度も不登校であった児童生徒の数）
- 新規数（前年度は不登校ではなかった児童生徒の数）

国の不登校千人率は年々上昇していますが、本市事業実施校では、事業開始後に不登校千人率が減少し、国の千人率を下回りました。



自尊感情・自己肯定感の向上

自己有用感の向上

こども同士の認め合いによる

こどもの主体性の向上

教職員による支え

『こどもが自治する学級・学校へ』

教職員がこどもたちを信じ、成長を支えることで、こどもたちは学級・学校をより良くするために話し合い、協働して取り組むことができるようになります。また、学校教育活動の中で、こどもたち同士の絆が深まることや、人の役に立った（自己有用感）と実感することを通して、こどもたちは、自分に自信を持つことができます。事業実施校では、このような活動を積み重ねることで、「みんなで何かをするのは楽しい」、「学校が楽しい」と思えるこどもたちが増え、不登校者数の減少にもつながっています。こどもたちにとって、学校が「心の居場所」となり「大切な意味のある場」となっているか、教職員自らの教育活動を問い直し、「学校だからこそできる」魅力を高めていきます。

国立教育政策研究所委嘱 令和6年度「こどもの発達を支える生徒指導に関する調査研究事業」

『こどもが自治する学級・学校』



魅力ある学校づくり



本市では、「子どもたち自身が主役となり夢や未来を見据え学び続けている学校」、「学校に関わる全ての人にとって居心地が良くみんなとともに創る持続可能な学校」を「めざす学校の姿」として示し、魅力ある学校づくりの推進に取り組んでいます。

令和5年度より国立教育政策研究所の委託を受け、第五中学校区（鳥飼小学校、鳥飼東小学校、第五中学校）をモデル校区として、「こどもの発達を支える生徒指導に関する調査研究事業」（魅力ある学校づくり）に取り組み、学校の「魅力」（Well-being※）の向上に努めています。

※Well-being（ウェルビーイング）・・・身体的、精神的、社会的に良い状態にあること。

本市がめざす『魅力ある学校づくり』（こどもの発達を支える生徒指導に関する調査研究事業） 令和5年4月 摂津市教育委員会

目的

こどもが自治する（教職員がいなくても、こどもたち自身で課題解決できる）学級・学校をつくる。
→主体性や意欲の向上により、いじめ、暴力行為等の問題行動や新規不登校の未然防止につなげる。

研究テーマ

『児童生徒の主体的参画等、生徒指導との関連を意識した特別活動の充実による魅力ある学校づくり』

めざす姿

絆づくり

居場所づくり

こどもを『支える』

『こどもが自治する学級・学校』

主体的で協働的な活動を通した「絆づくり」

こどもが安心して、自己存在感や充実感を感じられる「居場所づくり」

取り組み時のポイント

『主役はこども』

- ・こどもの自発的、主体的な発達を尊重する。
- ・こどもを信じて委ねる。
- ・こどもの事は子どもに聞いてみる。

▶ こどもが互いに、認め合うことで「自己有用感」に裏づけられた「自己肯定感」を高める。



※自己有用感：「人の役に立った」と感じた時に生まれる、自己に対する肯定的な評価

令和7年2月 摂津市教育委員会

大阪府摂津市三島1-1-1 TEL:06-6383-5763

E-mail:gakkou-kyouiku@city.settsu.osaka.jp

摂津市 YouTube チャンネル



第五中学校

行事・児童会・生徒会活動の充実

「生徒による自発的、自治的な活動」

「この指とまれプロジェクト」【清掃活動、挨拶運動】

学校をよりよく、より楽しくするために、誰でも企画・運営に参画することができる活動を「この指とまれプロジェクト」と題し、賛同した有志一同によって部活動紹介、校内の清掃活動、挨拶運動等を実施しました。

また、体育祭の競技中に流す BGM のアンケートを実施したり、これまでは教職員だけが行っていた学校ホームページによる情報発信を、同プロジェクトにより立候補した生徒が行ったりすることで、「生徒による自発的、自治的な活動」を推進させています。

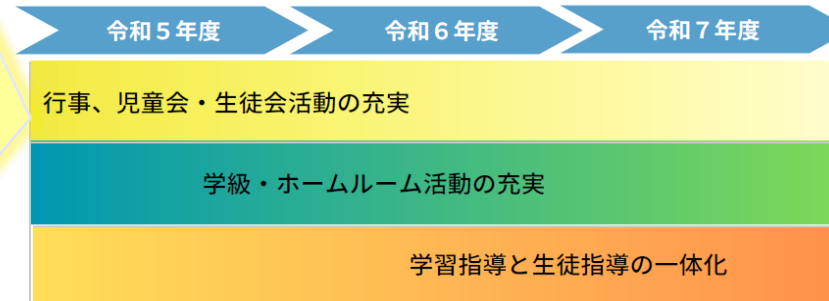
これらの取組により、「学校が楽しい」、「自分は誰かの役に立っている」と感じる生徒の増加に繋がっています。



五中校区の取組

こどもの発達を支える生徒指導に関する調査研究事業

イ.児童生徒の主体的参画等、生徒指導との関連を意識した特別活動の充実による魅力ある学校づくり



自己指導能力を育む

生徒指導の実践上の4つの視点

◇自己存在感の感受 ◇安全・安心な風土の醸成 ◇自己決定の場の提供 ◇共感的な人間関係

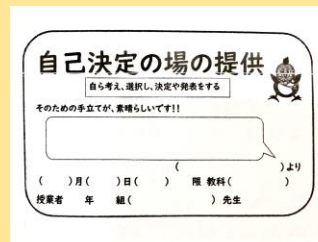


「授業中の生徒指導」

学習指導と生徒指導の一体化

相互参観「アップあっぷ月間」【生徒指導の4つの視点で参観】

教職員の日々の授業力や指導力の向上をめざし、教職員による『相互参観授業』を実施しています。教職員がお互いの授業を参観し合う際に、学習指導の視点に加えて、生徒指導の実践上の4つの視点を加えて、参観カードにメッセージを書いて全教職員で交流しています。参観や交流をとおして、教職員同士でこどもたちの日頃の頑張りや変容に気づき、次の成長を促す関わり方や、日々の授業改善に繋がっています。



いつでも見られるように、職員室に掲示しています。



鳥飼小学校

学級・ホームルーム活動の充実

「学級や学校における生活づくりへの参画」

こどもたち自身で話し合う【運動場の使い方】

運動場の使い方トラブルを防ぐため、これまでは教職員がルールづくりをしていましたが、各クラスの学級会で話し合った内容をもとに児童会役員と各クラスの代表が話し合いを行いました。こどもたちは学年で使用する曜日を定める等のルールを作るのではなく、「自分たちで譲り合おう」と考えをまとめました。

また、児童集会において、児童会役員から全児童に話し合いの内容が伝えられました。こどもたちは「みんなで決めたことなので、みんなで協力しよう」と声を掛け合っています。



鳥飼東小学校

『生徒指導の実践上の4つの視点』

◇自己存在感の感受への配慮

「自分も一人の人間として大切にされている」と実感する。

◇安全安心な風土の醸成

安全で安心して教育を受けられるように配慮する。

◇自己決定の場の提供

自ら考え、選択し、決定する、発表する制作する等の体験の充実させる。

◇共感的な人間関係の育成

自他の個性を尊重し、相手の立場に立って考え行動できる共感的な人間関係を創る。